

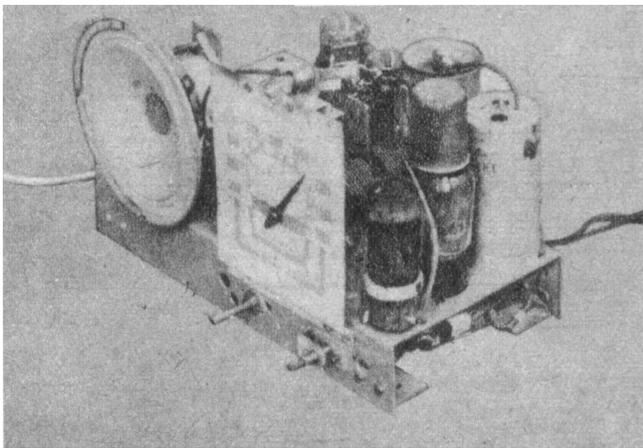
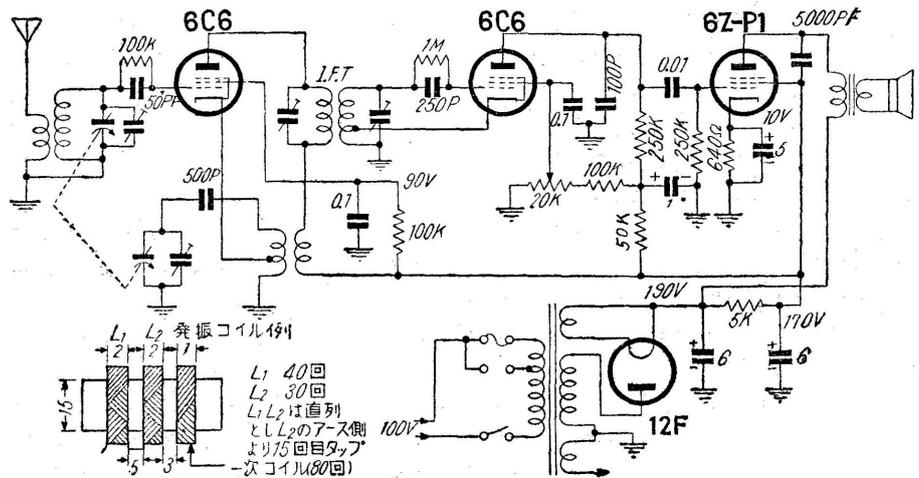
日本ビクターの4球スーパー

榎並利三郎

最近各方面より現在の高一再生検波四球国民型受信機の性能，特に選択度感度及音質の改善が叫ばれてきましたので今上記性能改善を目的とした四球スーパーを製作しました。部品は中間周波トランス以外は現在の国民型のものをそのまま使用しました。

回路は右に示してありますので第一球が第一検波周波数変換，第二球が第二検波，出力は6Z-P1を用いた出力最大1W，5吋のパーマネントダイナミック使用のものです。

第一第二検波ともグリッド検波で，音量調節は第二球のスクリーングリッドの電圧を変化して行くと同時に再生度も変化させます。口絵の写真はシャシー組立配置を示してあります。



本機の感度は実効高4米の標準擬似空中線を使用し12K Ω の終段無誘導負荷により出力50mWのとき放送波帯に於て60~80 μ V位で，選択度は全て10KC離調の点で20db以上あります。

電氣的忠実度は最高と4000 Δ との差7db，100 Δ と最高値との差5.5dbです。

本機はスーパー用のUt-6A7等を使用せず安価にしかも簡単に入手し得られるUZ-6C6を使用して4球スーパーを構成し，而も前述の如き性能を發揮しております。読者諸氏の多少とも御参考とならば幸甚の至です。

(『無線と実験』1948年1月号。旧漢字は新漢字に変更した。仮名遣いは原文のまま)